

足りない部分は周囲から力を借りて、次に活かす

## 株式会社コサイン・星幸一さん

家具の産地で知られる北海道旭川市で、良質な木製の生活道具を作り続けている株式会社コサイン。人々の生活を豊かにするモノづくりへの想いや副業人材活用について、代表取締役社長の星幸一さんにお話をうかがいました。

### ■会社概要について教えてください

1988年に4名のクラフトマンでスタートした会社です。「木のしあわせを届けよう」という理念の下、短くなった材料も無駄にせずに使いきり、ペン立てや靴べらなどの小物から子どものおもちゃ、掛け時計、ダイニングテーブルなど、生活を豊かにする木の生活道具づくりに取り組んできました。

自分たちで考えて作ったモノへの想いもいっしょにお客様へ届けようと、製造から小売まで一貫して行っています。現在は旭川と東京・青山の直営店、WEB ショップのほか、全国36店舗のパートナーショップを展開しています。

コロナ禍の影響で材料の価格が高騰したこともあり、地産地消を考えて、これまでカナダや北米のメープル材やウォールナット材を中心に使っていたのですが、北海道のタモ材を加えて価格を落とし、モニタリングをしているところです。

### ■コサインの森など、特徴的な取組もされていますね。

創立25周年を記念して、2012年、47,000平米の「コサインの森」を取得しました。そこには小川が流れ、さまざまな樹木が立ち並んでいます。未来の子どもたちが木登りやブランコをして楽しめる「創造の森」をつくるため、社員といっしょに整備を進めているところです。

また、可能な限り木のゴミを出さない「ぐるりさいくる（ぐるりと一周するリサイクル）」もコサインの大切な取組みです。製品を作る際に出る端材は子どもたちのワークショップの材料に、加工時に出た木くずは牛の糞敷きに代用して、最終的に畑に戻します。

### ■御社では人材不足を感じることはありますか？

店舗スタッフやWebの知識がある人材は足りていません。小売業を目指すとなると、自分たちで営業企画を立てないといけませんし、Webスキルのある人材も必要です。スキルのある副業人材を安価で活用できる取組みはとても大事だと思います。できないことはプ

口に任せたり、教えていただいたりすることで、自分たちの仕事に本腰を入れられることもあります。そして、教えていただいたことは、しっかりと次に活かさないといけない。スキルアップしたこと、成長できたことを自覚することも重要ですね。

#### ■今後のビジョンについて教えてください

長く使える生活道具をしっかりと作っていきたいです。いいモノを作るのは当たり前。付加価値のある、お客様に喜んでいただけるモノを生み出していきたくないと常に考えています。一人でも多くの方にコサインを知っていただくためには、自分たちの意識も大切で、私はスタッフに「コサインのわたし」ではなく「わたしのコサイン」と考えてほしいと伝えています。

私も、もっとコサインが浸透するように、あらゆる SNS を活用しているし、ブログも毎日書いています。そういった努力の積み重ねが必要ですね。

【企業 HP】 <https://www.cosine.com/>